



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2024. **8**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 404

- 国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に
Together for a Better World
- アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう
Make a Great Impact
- 西日本区理事：鵜丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに
Connect Local and World with YMCA
- 九州部部长：大崎 隆 義 [熊本さくらクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

福岡中央ワイズメンズクラブ・納涼例会 参加報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

8月10日土曜日、オリエンタルホテル福岡屋上ビアガーデンにて福岡中央クラブ主催の『夏の納涼例会 お祭り騒ぎ!』に松永ワイズと参加しました。ビジターに熊本の3クラブの7名、ゲストに14名、福岡中央のメンバーが6名でした。ゲストには福岡YMCAの日本語学科の学生さん方10名も含まれます。留学生は香港、タイ、韓国、米国、ネパール出身で、ビール片手におおいに会話が弾みました。最初は西日が眩しく暑かったですが、陽が沈むと心地よい風が吹いて気持ち良かったです。ホストの福岡中央クラブの皆さんは小田ワイズを中心に良くしてくださいました。ビールは種類が豊富でしたし、食事も満足でした。実に楽しく国際交流活動が出来ました。とても楽しい博多の夜のひとときでした。



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



今年1年の会長通信では、テーマである「みつかる」「つながる」「よくなっていく」に関連した内容を発信してまいりたいと思います。

今年の夏休みも猛暑を乗り越えて酷暑ですね。私が小さかったころでもここまで暑くなったと記憶しています。夏の風物詩といえば、高校野球甲子園大会。メディアでは、この酷暑の中の甲子園は健康面でいかなものか？という問題提起はなされているものの当事者である球児にとってはどこ吹く風。目標としてきた聖地甲子園でのプレーを想定して準備してきているのでしょうか。酷暑の中でも強い意志をもった球児たちがみせる人の可能性を「みつけている」気分です。

鹿児島YMCAで競技チアをしているメンバーたちは、恒例となった静岡遠征を今年も9泊10日にかけて実践してきました。約3,300kmに及ぶバスでの移動、転々とするため落ち着かない生活環境、遠征中3つのキャンプを通してたくさんの人と出会い、相当気づかれなこともしたことでしょう。そして酷暑の体育館はサウナです。役に立っているかわからない扇風機を頼りに、朝も昼も夜もダンス、ダンス、ダンス。はた目から見ると正気の沙汰じゃないのかもしれませんが、やっている本人たちはとにかく楽しい、そして苦しくて辛くても、同じ目標を持った仲間たちとの「つながり」を強烈に感じることに、によって、どんなことでも乗り越えていきます。過酷な日程にもかかわらず、笑顔が失われることなく、そして誰一人体調を崩さないという「つながり」の強さを感じた夏でした。

最後に夏休みといえば、やはり学校から出される宿題ではないでしょうか。様々な課題が出され、夏休みが終わりに近づくと、メディアもこぞって自由研究のやり方などを特集します。いつも気になっていることが、その夏休みの宿題、親の力を借りないとできないみたいな空気があることです。親子で取り組む自由研究？これって誰のための宿題なんでしょうね。普段指導しているチアの現場もそうです。子どもがうまくできないことを、親が率先して手助けしようとする。子どもは指導者よりもいつも親からサポートしてもらっているから親のほうに助けを求める。いつのまにか、親が習っているチアダンスになっているときがあります。わからない、できない、失敗した、などネガティブな体験を経験しない子が少なくなり、親の力を借りて、わかる、できた、成功したといった似非ポジティブ体験をしている子が増えているような実感があります。それって親は「よくなって」いても、果たして子どもは「よくなって」いるのでしょうか。子どもたちが本当によくなっていく経験を奪っているのではないだろうかと考えてしまいます。

子どもたちの姿からみつかる子どもたちの意志、子ども同士がつながっている、子どもたちの社会を知り、子どもたちがよくなっていくためのサポートをどのようにすべきかを考えさせられる夏休みでした。



梅雨も明け、いよいよ本格的な夏の到来です。今年も猛暑で過酷な日々が暫く続きますが、健康管理には十二分にご留意をください。私は食事を楽しむ事が大好きです。好き嫌いも全くありませんが、仕事柄魚を食する機会も多く、少し贅沢ですが、この時期の鰻や鮎は本当に美味しいですね。皆様も夏の旬の食材を楽しみながら、暑い夏を乗り切ってください。

また、夏になるとユースリーダーとして神戸YMCA余島キャンプ場で過ごした学生の頃を思い出します。ちょうどこの時期は11泊12日の「長期少年キャンプ」という大変長いキャンプの開催中でした。私は企画・運営の役回りをよく担っていましたが、頭を悩ましながら、奮闘していた日々は今でも色褪せない思い出です。

さて、早速各部評議会、EMCシンポジウム等が開催されています。私自身も西中国部、九州部EMCシンポジウムに参加しました。区からのEMC事業方針の共有に加え、各クラブの課題と抱負も確認出来ました。また、大阪サウス、京都ZEROクラブの7月度第1例会にお伺い上、新会員入会式に立ち会う事ができ嬉しく思います。EMC増強が喫緊課題である事は皆様共通の認識です。今期150名の新会員入会を目標としています。清水EMC事業主任と共に各部・クラブの目標達成推進に向け、区として出来るサポートの尽力をしたい次第です。

また、第1回西日本区役員会が7月20-21日に開催されました。前年度から区費値上げを実施させて頂いていますが、区財政は今尚逼迫しています。これら課題へ向けての事やユースへのより積極的な活動支援等についても皆さまと闊達な協議をしました。各部部長を通じ、各クラブメンバー皆様のご意見など伺いたい事がこれから出てまいります。ご協力のほどよろしくお願い致します。

我々が属するアジア・太平洋地域のジョウン・ウォン(香港)地域会長のテーマは「Make aGreat Impact (大きなインパクトを起こそう)」です。西日本区もさらに地域社会やユース支援に大きな影響

力をもつ団体になる事を願い、大きなインパクトを起こすためにも、勇気をもって変化することへのチャレンジができればと思います。

8月はいよいよタイ・チェンマイにて国際大会が開催されます。このような大会は国際協会として幅広いネットワークを持つ団体ならではの醍醐味です。西日本区からも約30名が参加いたします。世界のメンバーと、交流と学びを通じ親睦を深めたいと思います。そして、西日本区のインパクトを世界のメンバーへも披露できる事を期待しています。どうぞ、皆さま8月度も引き続きよろしくお願いいたします。

7月定例会報告

鹿児島クラブ 園屋 高志

2024年度のキックオフ例会となる7月例会が、7月23日(火)に鹿児島市国際交流センターで行われました。今回は新内博之新会長のスタートとなる会でした。会は総会の形で行われ、昨年度の事業報告、会計報告、そのあと今年度の事業計画、予算案を審議し、原案通り承認されました。今年度は新内会長が主題としてあげた「みつかる、つながる、よくなっていく」を、ワイズの活動を通して実体感できるようなクラブにしようということで、それに沿って例会の内容等も企画していくことになりました。今後新会長の考える斬新な企画が期待されます。また、来年熊本で予定されているアジア太平洋地域大会に向けてのこと等も合わせて話し合いました。



7 July

7月例会報告

日 時：令和6年7月23日(火) 19:00 ~ 20:30

場 所：鹿児島市国際交流センター

出席者：11名

司会者：新内俊昭ワイズ

7月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	9名
メネット	1名
コメット	1名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
7月出席率	122%

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今月の樹

きんかん(金柑)



中国の長江中流域原産。日本へは中国から伝わり、暖地で栽培されている常緑低木果実は直径約2-3センチメートル(cm)で、甘みと酸味がある。生で皮ごと食べられる品種もある。名の由来は、黄金色のミカン(蜜柑)の意味から金橘、金柑の中国名が生まれて、日本ではそれを音読みしてキンカンとなった。俳句では秋の季語になっている。英語などの「Kumquat」もしくは「Cumquat」は「金橘」の広東語読み「gam1gwat1 (カムクワット)」に由来する。

日本への渡来は江戸時代の文政9年(1826年)のこと。現在の中国浙江省寧波(ニンボウ、当時・清)の商船が遠州灘沖で遭難し清水港に寄港した。その際に船員が礼として清水の人に砂糖漬けのキンカンの実を贈った。その中に入っていた種を植えたところ、やがて実がなり、その実からとった種が日本全国へ広まった。花は7月から9月に咲く。他の柑橘類に比べると花期が遅いのが特徴。(ウイキペディア 参照)



今月の聖句

あなたがたの中の戦いや争いは、どこから起こるのですか。あなたがたの体の中でうごめく欲望から起こるのではありませんか。(ヤコブ4:1)



鹿児島ワイズメンズクラブ
WEBサイトはこちら▶



2024YMCA サマーキャンプ

8 月 18 日から 20 日にかけて、国立大隅青少年自然の家にてチアダンスのサマーキャンプを実施しました。総勢 99 名のキャンプで、チアダンスの練習だけでなく、キャンドルサービス（キャンプファイヤーの屋内バージョン）やクラフト活動なども楽しみました。

鹿児島市の鴨池フェリーターミナルから船に乗って垂水へ渡り、バスに乗り、山の上にある自然の家へと移動します。山の上とは言え、まだまだ暑さの厳しかった時期、最大の敵は熱中症でした。しかし鹿児島ワイズメンズクラブからご支援いただいたボカリスエットや麦茶といった飲料、塩飴や塩分チャージなどたくさんの熱中症対策グッズのおかげで誰一人熱中症によって体調不良を起こすことなく全ての行程を楽しみました。

下は小 1 から高校生まで幅広い年齢層のキャンプでしたが、異年齢の中でも互いに助け合い、認め合い、高めあいながら活動し、心身ともにたくましくなったのではないかと思います。



第 18 回鴨池校区夏祭り

8 月 3 日（土）に鹿児島 YMCA の地元になる鴨池校区の夏祭りに呼んでいただき、出演してきました。

暑さが厳しい中でしたが、地元の方々から温かいご声援をたくさんいただき、子どもたちも誇らしげでした。

地元地域とこれからも積極的に繋がり、地元に貢献できる活動に取り組んでまいります。

